

『ジェトロのサービス』のご紹介

2025年5月28日
日本貿易振興機構（ジェトロ）
北海道貿易情報センター
TEL : 011-261-7434
SAP@jetro.go.jp

■ 本日、お伝えしたいこと

1. ジェトロ／ジェトロ北海道とは
 2. ジェトロのサービス
- (参考) 道内事業者のジェトロ活用事例

■ 本日、お伝えしたいこと

1. ジェトロ／ジェトロ北海道とは

2. ジェトロのサービス

(参考) 道内事業者のジェトロ活用事例

(正式名称)

独立行政法人 日本貿易振興機構（ジェトロ）

Japan External Trade Organization (JETRO)

(ジェトロの目的)

日本の貿易促進と対日直接投資に関する事業の総合的な実施と、開発途上国地域の総合的な調査研究を通じて、諸外国との貿易拡大および経済協力を促進し、日本の経済・社会のさらなる発展を目指します。

国内外のネットワーク



ジェトロ北海道とは

名称：日本貿易振興機構北海道貿易情報センター

設置：1961年3月（国内10番目）

所在地：〒060-0001 札幌市中央区北1条
西2丁目北海道経済センター9階

TEL : 011-261-7434

<URL>

Email : SAP@jetro.go.jp



常駐所員：14名（※）

相談窓口：函館、旭川



※2025年5月1日現在

ジェトロ北海道の事業実施方針 (2025年度)

道内企業の海外展開支援と道内経済
の活性化に取り組む。

- ① 農林水産・食品分野を中心とした北海道產品の輸出促進支援
- ② 海外進出・在外日系企業支援
- ③ 対日直接投資や競業・連携等による外国企業誘致と、高度外国人材の活用推進の支援
- ④ 地域貢献プロジェクトの実施
- ⑤ 北海道における貿易・投資相談事業の実施

ジェトロ北海道が取り組む『地域貢献プロジェクト（小規模ワイナリー発掘商談事業）』

道内のワイナリーの数は新規参入者の増加により、ここ10年で約3倍（2024年11月現在で70カ所）に増加している。一方で、道内のぶどう生産者やワイナリーは小規模事業者が多く、自分たちでマーケティングやブランディングを行えるワイナリーは少ない。ワイン産業は、1次産業、2次産業、3次産業に及ぶすそ野の広い産業であり、持続可能なワイナリー経営のため、ワインの品質向上、海外における知名度向上、商談機会の提供により、北海道産ワインが国内外で評価を得ることで、販路拡大はもとより、北海道のワイナリーが北海道訪問の動機付けになるような、魅力ある地域資源の確立を目指す。

【プロジェクトの概要】

- ・シンガポール・香港のソムリエや輸入業者を招聘。道内各地のワイナリーを訪問し、試飲商談を行う。
- ・日程：2024年11月10日（日）～16日（土）
- ・訪問先：十勝・富良野・空知・余市
- ・ソムリエ：
 - ①シンガポール「Park90」所属 Mason Ng 氏
 - ②香港 インポーター Kenneth Lee 氏
 - ③「Ando HK」ワインダイレクター Carlito Chiu 氏



■ 本日、お伝えしたいこと

1. ジェトロ／ジェトロ北海道とは

2. ジェトロのサービス

(参考) 道内事業者のジェトロ活用事例

「海外経済・貿易情報を入手したい」



ジェトロのHPをご活用ください！

① ジェトロについて ② お問合せ ③ Global Site ④ アジア経済研究所 ⑤ マイページ サイト内検索

JETRO
日本貿易振興機構(ジェトロ)

海外ビジネス情報 ▾ サービス ▾ 国・地域別に見る ▾ 目的別に見る ▾ 産業別に見る ▾

日本産農林水産物・食品の輸出 を支援します!

詳しく見る >

< 新規輸出一万社支援 招待バイヤー専用カタログ 万博関連の取り組み J-Bridge連携・協業 高度外国人材ポータル 農林水産物輸出支援 ジェトロメンバーズ > //



海外ビジネス情報

● 最新情報をチェック >

ジェトロの海外ネットワークからの最新のニュース・レポート

TARIFF % % %

米国関税措置への対応
(日本企業相談窓口)

ALPS処理水の処分に伴う輸出等の対策に関する特別相談窓口
セミナー・セミナー・セミナー

世界の脱炭素・カーボンニュートラル動向

サプライチェーンと人権

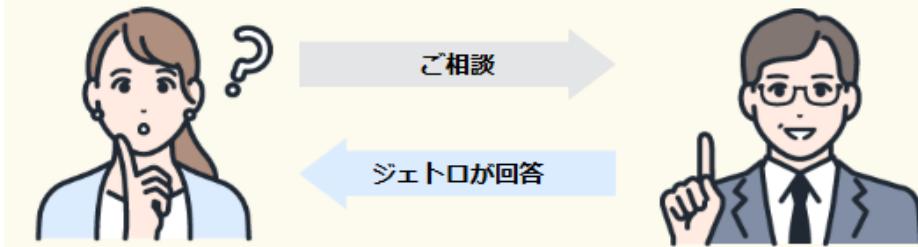
「貿易・投資について相談したい」

自社商品を輸出したいけど、何から手をつけたらよいかわからないのですが

米国に食品を輸出するにはFDA登録が必要と聞きました。誰にお願いしたらよいですか？

台湾に乳製品を輸出したいのですが、日本側では必要な手続きはありますか。台湾側に輸入規制はありますか？

輸出入や海外進出の実務のご相談に対して、経験豊富なアドバイザーがお応えします **(無料)**



貿易実務に関する情報提供

各国の制度情報の提供



「海外の取引先を見つけてたい」



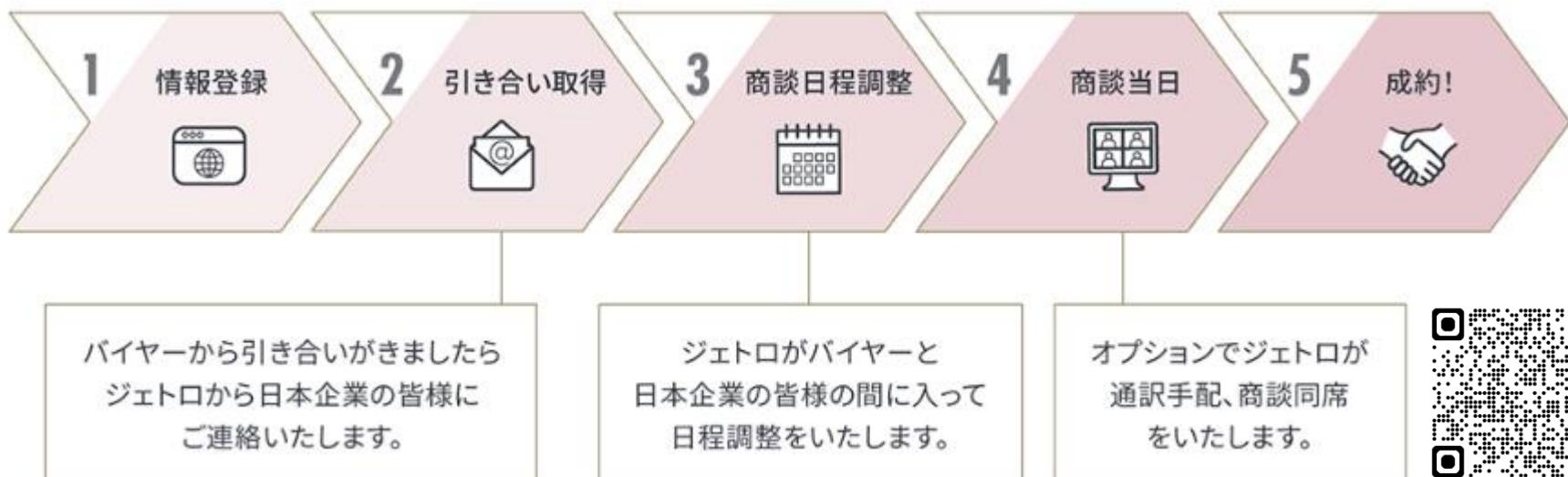
Japan Streetのご利用はいかがでしょう？

Japan Streetとは、



ジェトロが招待したバイヤー専用のオンラインカタログサイト

- ・輸出可能な日本企業の商品をJapan Streetに登録、掲載。
- ・ジェトロが招待したバイヤーがJapan Streetを閲覧。
- ・参加料・商品登録料は無料。



「海外の取引先を見つける」



様々な商談機会をご提供しています！

■ 海外バイヤーとの商談会（FOOD HOKKAIDO）

札幌商工会議所等と連携し、海外バイヤーを招いて、北海道産食品の商談会を開催。一部バイヤーは北海道内の他地域や東北も訪問し、事業者を訪問、視察・商談を実施。
※ 2024年度は、9月25日～26日に札幌市で開催。ジェトロは海外バイヤー15者を招聘。

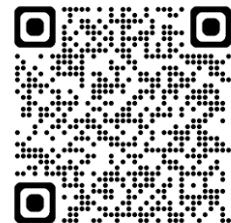
■ 国内商社との商談会（商社マッチング）

輸出に初めて取り組む方や、直接輸出が難しい北海道内の農林水産・食品事業者を対象に、道外商社との商談会を実施。

※2024年度は8月29日（旭川）、9月12日（帯広）、2025年1月23日（函館）で開催。

■ ジェトロ本部が出展する海外見本市、主催の商談会（国内・海外）

ジェトロ本部が開催する各種商談会への参加案内・支援を行います。



「社内に海外ビジネスを担える人材がいません」



『社内の人材の育成』や『外国人材の活用』 を考えてみませんか？

<中小企業人材育成塾>

// あなたのスキルにあわせて **2つの講座**をご用意 //

輸出商談がはじめての方
 商談準備に課題を感じている方

初めての成約を勝ち取る

海外取引の拡大をしたい方
 英語商談のスキルアップがしたい方

ターゲット顧客を攻略する営業力を体得

攻めの営業力を鍛える



<道産食品輸出塾>

輸出に意欲が高い道内事業者(公募)

随時支援
(他の支援事業と連携)

知識習得、情報収集
(セミナー・現地視察等)

実践
(商談会)

成果の普及
(輸出に取り組む事業者の拡大)

「社内に海外ビジネスを担える人材がいません」



『社内の人材の育成』や『外国人材の活用』 を考えてみませんか？

高度外国人材活躍推進コーディネーターによる伴走型支援



外国人材とともに、一歩先へ！
高度外国人材の採用から定着までをジェトロがサポートします

高度外国人材の活躍推進に精通したジェトロの専任コーディネーターが、高度外国人材の採用計画の作成から受け入れ、育成定着までを一貫して支援します。本サービスのご利用には審査があります。



採用戦略



採用活動



受入準備



育成・定着

■ 本日、お伝えしたいこと

1. ジェトロ／ジェトロ北海道とは
2. ジェトロのサービス

(参考) 道内事業者のジェトロ活用事例

株式会社グリーンズ北見（北見市）

以前から海外への販路展開を模索し、新設備導入など環境は整えていたが、輸出に関する知識が全くない状態。まずはジェトロ北海道に海外ビジネスに関する**貿易相談**。その後、「道産品輸出塾」、「ハンズオン支援」サービスのご利用を提案し参加。輸出知識の向上に取り組むことに。



取組みを開始した2020年は、コロナ禍で商談はもっぱら**オンライン**。ハンズオン支援の専門家からは、事前の取引先の分析、オンライン商談への同席、フォローアップと手厚くサポート。また、専門家は単に商品を輸出するだけでなく、「まずは企業ブランドの確立が重要」とアドバイスし、中国・台湾での商標を申請。今後の国内外でのスープ販売にあたり大きな礎を構築。



23年、台湾の「**FOOD TAIPEI**」のジャパンパビリオン出品を実現。北海道の原材料を使い、北海道で生産していることが評価されていることを実感し、また、この出展で業務用スープに需要があることが分かり、グローバルな視野から国内外どちらにも対応可能な商品開発につなげることができた。

(参照)

https://www.jetro.go.jp/case_study/2023/001_greenskitami.html



営業開発部営業課長
丸山 勇太 氏



FOOD TAIPEIジャパン
パビリオン出品時の様子

株式会社不二屋本店（函館市）

2018年、2019年に**道産食品輸出塾**を受講。そこで基本的な商談の仕方や商談資料作成の方法を習得。その後商談していく中で、資料の見直したいと感じていた。



中小企業海外ビジネス人材育成塾では、商談資料をブラッシュアップでき、また、商談のやり方も一から学び直せると聞き、参加申込み。



受講をきっかけにバイヤー側のメリットを意識した営業を心掛けるようになる。育成塾受講後は商談数、輸出先が増加。20年12月から利用を開始した**ハンズオン支援**も海外ビジネス拡大に寄与。



(育成塾のチ・成果) 育成塾では多くの受講生の前で自社のプレゼン実施を経験。場数を踏むことで良い意味で商談へのハードルが下がり、緊張することが減った



営業本部 営業企画グループ
海外事業課 課長
鎌田宏樹 氏

(参照)

https://www.jetro.go.jp/ext_images/services/ikusei/katsuyojireisyu_ikusei.pdf

国稀酒造株式会社（増毛町）

当初、社長一人で輸出に対応していたが、輸出先が増えるにつれ難しくなったため、高度外国人材の活用した海外ビジネス拡大を模索。



ジェトロの**外国人材活用支援パッケージ（伴走型支援）**に申込み、専門家と面談を重ねながら採用活動を実施。結果、1名の採用枠に40名超がエントリー。思い切って最終選考に残った2名を同時に採用。



定着してもらうために、コミュニケーションを重視。なんでも相談してもらうだけではなく、高度外国人材との雑談を通じて気づかされ、学ぶことが多い。長く働いてもらうための住環境も改善。



- ・高度外国人材の1名がSNS情報発信を日本語、中国語、英語で行い、フォロワー、閲覧数増加。
- ・もう一人の高度外国人材が輸出に関する事務処理を担い作業効率のアップに寄与。



代表取締役社長
林 花織 氏



(参照) https://www.jetro.go.jp/ext_images/hrportal/region/hokkaido/pdf/01.pdf

株式会社杉本商店（宮崎県高千穂町）

JETRO
Japan External Trade Organization

（ジェトロ利用のきっかけ）

- ・海外販売を本格化する前の2016年頃から、①ジェトロに隨時電話で貿易相談。



- ・2018年頃、海外輸出を本格的に志す段階で、改めてジェトロや公的機関に相談した結果、②ジェトロの輸出プロモーター事業（ハンズオン支援）を利用することに。



- ・コロナ禍では③ジェトロのオンラインカタログサイト（Japan Street）に登録、海外バイヤーからの引合いにオンライン商談を実施。また、ジェトロと連携した越境ECサイト活用プログラムも利用。



- ・欧米、アジア各国の販路開拓に成功。
- ・米国大手ECサイト売り上げ上位ランキング入り。
- ・ヴィーガン市場や、新たな海外販路を開拓中。



代表取締役社長
杉本和英 氏



海外見本市で社長自ら来場者
に試食品を提供

（参照）

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2019/1002/6bc3a9b5ea29af2e.html>

★お気軽に、ジェトロまでご連絡ください！

ジェトロ北海道貿易情報センター（Tel:011-261-7434）

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター9階

函館相談窓口（Tel:0138-21-4022）

〒040-0063 函館市若松町7-15 函館商工会議所ビル3階

旭川相談窓口（Tel:0166-29-1911）

〒040-0063 070-8540 旭川市常盤通1丁目 道北経済センター3階（旭川商工会議所内）

Email : SAP@jetro.go.jp



メールマガジン「ジェトロ北海道メールニュース」週に1回程度配信（無料）

ジェトロ北海道のイベントをご案内していますので、ぜひご登録ください！



ジェトロのウェブサイト : <https://www.jetro.go.jp/>

